

## 編輯室の内外

一陽來復梅香地に満つるの時季となつた筆硯を研いて大に文章報國の實を擧ぐべきである、同志の諸彦庶幾くは更らに一段の高援を與へられんことを。

議政壇上不發爆彈・解散毒瓦斯、ねらい打ち戰術等に依りて悲喜劇の實演中であるそして所謂三すくみの政友會も世界の大勢と云ふ超大看板には我を折つたので鶴鳴豫算は下院を通過した、上院でも各閥僚に對する差別的攻撃を加へたが矢張厖大な豫算も無滞帝國議會の協賛を得ること間違ひない、國防萬歳だ。

東京府第三道路改修事務所長土木技師兼道路技師工學博士佐野俊男氏が東京都市計畫事業たる道路改修工事に於ける大都市要救濟労働者の労働能率及び坂路に於ける滑止として路面に溝を附したるコンクリート鋪裝に就ての意見（土木工學二一、一）は斯界に取つて有益なる資料で内務技師工學士江守保平氏の「鋪裝道路に於ける自動車スリップ試験」（シビル九年一一月）も亦斯業關係者に取つて有力な参考資料である筆

者は大に歡迎する、又九大久野博士と池本内務技師の路面片勾配に就ての論戰も頗る興味を感じらるるか夫れに就ては「道路曲線部の片勾配に關する論戰」（土木學會、工學研究兩誌掲載久野博士對坂田時和氏）を参考すると一段の理解が得らる。

巨額の經費と所期以上の歲月と多數の人身供養を犠牲として漸く人力が自然を征服したと誇り鐵軌の距離十一キロ餘直行時間約十分を短縮して居る又流線型汽車の高速度の計畫をして居るが斯界の研究はすばらしいもので大ロケットから噴光船へと超高速度交通機關が特に交通界の寵兒たらんとして來た、液體酸素と液體水素の利用も茲に至つて驚嘆に値する、地上に地下に將又上空にハイスピードの交通機關が互に連絡する即ち縱に横に高速度又は超高速度交通機關の利用も餘り遠き未來ではなからう。

近時東北振興に關して朝野共に其方策に腐心しておる狀態である。關係六縣知事の要望事項として傳へらるゝ所では東北に於ける冷害は勿論雪害水害震災等の防備施設農村工業及副業並其販路特別の金融問題其他地方財政助成交付金制度で尙注目すべき

事項は鐵道は勿論主要幹線道路等の交通機關整備問題である、道路橋梁等に關する事項に關しては内務省關係當局でも十二分に調査研究を遂げらることは云ふまでもないが天惠の稀薄な凍冰の長期に涉る地方の事であるから施工、工法、經濟的價値等の點に至るまで遺済なきを期せられたい。

農村の振興は自力更生に俟つべきは言ふまでもないことであるが、とかく文化に遲れ勝ちで農業の如き關西九州等の地方に比して餘程の開發を促進するを緊切とする東北地方の事は慎重を要する。（洮）

定價一部  
一ヶ年分 五十五  
錢

東京市麹町區外櫻田町一番地内務省内  
發行所 社團道路改良會

東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二  
電話銀座(57)四二七

編輯者 小島 效  
印刷所 東京市小石川區諏訪町五六  
常磐印刷所 奈良直一